

今年も夕市スタートしました!! 新鮮な地場産品はいかがですか



→ 品定めするお客様



← 地元で採れた山菜がずらり

6月13日、五所川原市地産地消を進める会（会長=小野妙子）では、コミュニティセンター栄駐車場にて、夕市をスタートさせました。初回からたくさんの方々にお越しいただき、にぎやかで笑顔あふれるひとときとなりました。

会場では、地元の新鮮野菜などがずらりと並び、夕方の時間を楽しく彩ります。今後も引き続き、毎週金曜日に開催予定です。お仕事帰りやお散歩のついでに、ぜひお立ち寄りください。五所川原市地産地消を進める会では、会員が丹精込めて栽培した農産物等をたくさん用意し、地域のみなさんとのふれあいを楽しみにお待ちしております。

※天候状況によっては急遽中止となる場合がございますので、ご了承ください。

【問い合わせ先】農業委員会（内線2883）

農地パトロールを実施します!!

農業委員会では8月中旬より、農地パトロール（利用状況調査）を実施します。

この調査は、これまでに把握した遊休農地が解消されているかに重点を置き、調査します。

新たに、遊休農地化した農地や無断転用されている農地がないかも確認します。

調査のため、農業委員、農地利用最適化推進委員、市職員が農地に立ち入る場合もありますのでご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】
農業委員会（内線2882）

ため池に近寄らないで!

ため池での釣りや水遊びなどにより、痛ましい水難事故が全国各地で発生しています。

保護者や地域のみなさんは、子どもたちがため池に近づかないようお声かけをお願いします。

【問い合わせ先】農村整備課（内線2532）

りんごの栽培技術講習会開催



6月26日、市農林政策課は農業後継者の育成や農業技術の継承のため、若手生産者を対象にりんごの栽培技術について講習会を開催し11名が参加しました。

当日は雨天のため園地での実地研修は中止となり座学形式での講習会が行われました。

講師は今年1月にりんごの剪定講習会でも講師を務めた佐藤昭浩氏と福土美奈子氏を迎え、病虫害防除の対策や、今年の気象傾向を踏まえた管理のポイントなど、実践に役立つ内容を分かりやすく説明していただきました。参加者は熱心にメモを取りながら、真剣に耳を傾けていました。

参加者からは「それぞれの農薬の活用方法を知ることができて、とても良い勉強になった。」、「先輩農家の意見をたくさん聞けて良かった。今後の自分の営農に活かしていきたい。」との声が聞かれ、今後の栽培管理に向けて意欲を新たにしている様子が見られました。

国会議員への要請活動を実施しました ～農業者の声を国政へ～



← 岡田華子衆議院議員へ要請

北五地区農業委員会協議会（森 義博 会長）では、5月28日、29日に県選出国会議員である衆議院議員 佐原若子氏、岡田華子氏に対し、中弘地区農業委員会連絡協議会、津軽南地区連絡協議会、西・つがる地区農業委員会連絡協議会と合同で、5月28日に開催された令和7年度全国農業委員会会長大会において決議された政策提案「改正基本法、基本計画における政策の実践に向けた提案」の要請書を提出して参りました。

議員との懇談の中では、備蓄米のことや水稻の地域単収の乖離について訴え、今後の農政の取組に対する要望も伝えることができました。

これからも農業者の声を国に伝えるために、北五地区農業委員会協議会は、要望活動を継続して参ります。



← 佐原若子衆議院議員へ要請

伝統を受け継ぐ ～ 相内の虫送り～

6月14日、五穀豊穡と無病息災を願う伝統行事「相内の虫送り」が市浦相内地区で行われました。

お囃子の音に合わせて力強く太刀を振るう相内青年団と2週間前から「太刀振り」の練習を行ってきた市浦小・中学校の児童生徒たちが「はねろじゃはねろ、けっぱれじゃけっぱれ」の掛け声とともに五穀豊穡への願いを込めて地区内を練り歩き、沿道には多くの住民が集まり笑顔で祭りを見送っていました。



← 勇壮に太刀を振る相内青年団



→ 伝統を受け継ぐ市浦小学校の児童たち

豊作に祈りを込め「御田植祭」



早乙女、早男姿で苗を植える参加者

5月17日、市浦地区の山王坊日吉（ひえ）神社の神田で「御田植祭」が行われました。稲作文化の継承と豊作を祈る御田植祭は、白い衣装を着た早乙女（さおとめ）、早男（さおとこ）には地元の小中学生のほか、弘前大学に短期留学している米国テネシー大学の学生12名も参加し、初めて体験する田植えに歓声をあげていました。

また、田植え後は、地元の保育園児と参加者が一緒に音楽デュオ「サエラ」が作曲した「嫁こさ来い」（立花寛山さん作詞・振り付け）を賑やかに踊り祭を盛り上げていました。

植えたお米「まっしぐら」は、秋に収穫し11月の「新嘗祭」ではおにぎりにして振る舞われるほか、三重県の伊勢神宮にも奉納されます。